



これまでの「輝け！おばねっ子」は上のQRコードからご覧いただけます

～尾花沢の未来をひらくいのち輝く人間の育成～

児童生徒質問紙からみえるおばねっ子の実態②

前号に引き続き、全国学力・学習状況調査のうち児童生徒質問紙からみえる本市の実態を考察します。なお、数値は全国平均と比べたポイント数（青：全国平均と比べて良好、赤：全国平均と比べて課題）を示しています。

■地域・社会貢献などに関わる内容について

第1号でも取り上げましたが、第7次尾花沢市総合振興計画では、政策の柱の一つに子育て・教育「ふるさと愛を育むまち」を掲げています。「地域や社会をよくするために何かしてみたい」は小学生+8.9、中学生+10.2と非常に良好な結果となりました。地域貢献・社会貢献の意識が着実に育っています。

これも、常日頃より地域の皆様の学校教育活動へのご理解とご協力のおかげと思っております。ありがとうございます。



■授業や家庭学習における学習について

各校では、学びを自分で調整する力を育む取組が行われています。「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている」は小学生+4.1、中学生+5.8であり、成果があらわれているといえそうです。

また、授業に臨む姿勢も良好な結果が出ています。「学習内容を見直し、次の学習につなげている」は小学生+5.1、中学生+9.4となっています。中学生は、他にも「資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表した」が+10.6、「課題の解決に向け、自分で考え、自分から取り組んでいた」が+11.8、「学んだことを生かし、自分の考えをまとめた」が+6.0、「自分にあった教え方、教材、学習時間であった」が+14.2、「自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていた」が+9.0となりました。

一方、家庭学習の時間を大きな課題ととらえています。

小学生の「平日の家庭学習時間」は2時間以上-12.6、3時間以上-8.8、「休日の家庭学習時間」は2時間以上-5.1、3時間以上-5.0、4時間以上-4.0となりました。

中学生も、「平日の家庭学習時間」は2時間以上-19.0、3時間以上-6.3、「休日の家庭学習時間」は2時間以上+7.9でしたが、4時間以上-3.7となりました。

「時間さえかければよい」というものではありませんが、全国にはこんなにも時間をかけて学習している小中学生がたくさんいることは、知っておいていただきたいと思います。

また、前号で触れましたが、メディアとの関わり方も改めて確認する必要があるようです。

現在、本市において推奨している、リーディングスキルテストの結果を踏まえた、教科書を使っているRSノートの活用による家庭学習などを、ぜひ参考に見てみてください。



【担当】尾花沢市教育委員会こども教育課
教育指導室長 工藤 雅史
TEL 23-3330